

新専門医研修 プログラムガイドブック



泌尿器科専門医



Program
Guidebook



泌尿器科専門医プログラムへの応募・問合せ

プログラムの説明や質問、各施設の見学や待遇などお気軽にご相談下さい！（問合せの秘密は厳守します）

泌尿器科専門医の研修に関心のある方のご連絡をお待ちしております

泌尿器科研修に興味のある医学生の方には、初期臨床研修についても適切にコンサルトいたします



メールによるお問合せ先

sougou-soumu@shizuoka-pho.jp

事務職員 静岡県立総合病院 総務課 大下 将（おとした まさし）



お電話によるお問合せ先

054-247-6111（代表）

「総合診療専門医研修のパンフレットを見て」とお伝え下さい。

“普通の人”大歓迎です！！

いっしょに学んで行きましょう！

私が泌尿器科を選択したのは実に消極的な理由からで、今思えば不思議なことで、何一つ大きな理由というものはありませんでした。逆にとても小さな理由がいくつも重なって、何となく泌尿器科にならざるを得ない状況に陥ってしまったのです。ですので、泌尿器科医になった時はこの科が何をするとするか、ということすら理解していませんでした。私には（今でもそうですが）偉い先生が共通して持つような“ポジティブオーラ”は無縁で、どちらかという医師らしくもなく一般の人に近い感覚の方が強かったのだらうと思います。しかし、この一般人的感覚というのが実は泌尿器科医療には非常に重要であることもその後徐々にわかってきました。

泌尿器科では多岐に渡る臓器の非常に多岐に渡る疾患を受け持ちます。具体的には、悪性疾患、排尿生理、女性泌尿器科、尿路感染、尿路結石、腎移植、尿路外傷、男性性機能障害、男性不妊、小児泌尿器などです。手術もすれば抗癌剤や免疫抑制剤も使用します。乳児から超高齢者までが対象患者になります。そのためには総合力・バランス感覚が大切です。一つのことに秀でることも大切ですが、全てに対してある程度以上の知識や技量をも要求されます。力を入れることは必要ですが、力の抜き方も大事です。これらを満たすためには他人の意見も尊重できるような幅広い視野が必要となってきます。

このプログラムでは、個々に興味のある分野には特別に重点を置いた研修をしてもらう予定ですが、それ以外にも上記に掲げた多くの分野を研修期間内に経験し、診療所を含めた様々な種類の医療機関での見聞を広めてもらいます。また、理論的な考え方を基調とした治療戦略の選択法に重点をおいた研修をしてもらいます。

「普通の人」大歓迎です！！いっしょに学んで行きましょう！

静岡県立総合病院
腎センター長・泌尿器科部長

吉村 耕治

KOJI YOSHIMURA

<略歴> 1967年大阪府箕面市に生まれる。1992年京都大学卒業。同大学泌尿器科に入局後、国内の複数の関連施設勤務を経た後、2004年大学の泌尿器科に助手（助教）として勤務。大学院での研究生生活や海外留学を経験することなく医学博士を取得の後、2011年京都大学泌尿器科准教授となる。2014年から静岡県立総合病院腎センター長・泌尿器科部長として勤務。

泌尿器科専門医

研修プログラムの紹介

静岡県は約370万人（都道府県別で第10位）の人口を有する地域で、8つの二次医療圏をもっています。実質的には東部（伊豆半島を中心とした地域）、中部（静岡市、藤枝市、焼津市、島田市を中心とした地域）、西部（浜松市、湖西市を中心とした地域）の3つに分かれ、それぞれに異なった医療事情をもっています。

静岡泌尿器科専門教育プログラムは静岡県立総合病院を基幹施設として二次医療圏のバランスを考慮しつつ選択された①グループA病院（日本泌尿器科学会が定める標準的手術が年間80件以上の病院）、②グループB病院（同標準手術が年間80件未満

の病院）の2種類の研修連携施設及び③グループC（地域内開業医）の研修協力施設により構成（以下、「連携施設等という。」）され、一般的な泌尿器科疾患の研修を中心に小児泌尿器科、女性泌尿器科、ED・性機能障害、腎移植、腹腔鏡手術（ロボット支援手術を含む）などのsubspecialty領域も効果的に研修できるように設計されています。専攻医はこれらの多様な病院群をローテートすることにより、泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断を的確に行える能力を身につけることができます。

コース選択は、高い臨床実施能力の獲得とsubspecialty確立を目指す一般コースが主で、静岡県医学修学研修資金貸与者に対しては返済要件を満たすようプログラム修了後も県内での勤務継続へとスムーズに移行させることができます。その他、早期より開業を念頭においている専攻医には高いレベルの開業医研修を含め、より多施設で多くの見聞を得ることを目的とした開業コースも併設しています。本プログラムでは研修期間中に大学院の進学を意図したコースの設定はありませんが、希望者は研修修了後に関連大学への大学院進学が可能です。

年次毎の専門研修計画

専攻医の研修は毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に基本コースにおける年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。

1 専門研修1年目

専門研修1年目では基本的診療能力および泌尿器科の基本的知識と技能の習得を目標とします。研修基幹施設である静岡県立総合病院での研修、または連携施設での研修になります。指導医は日々の臨床を通して専攻医の知識・技能の習得を指導します。専攻医は学会・研究会への参加、e-learningなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

2 専門研修2-3年目

専門研修の2-3年目は研修連携施設等での研修となります。グループA病院（日本泌尿器科学会が定める標準的手術が80件以上の施設）、またはグループB病院（日本泌尿器科学会が定める標準的手術が80件未満の施設）で研修します。1年次に習得した知識・技能をさらに発展させ実践できるようになるとともに、各種メディカルスタッフとのスムーズな意思疎通や他科との連携も重要な研修項目となります。

3 専門研修4年目

専門研修の4年目は連携施設または研修基幹施設での研修となります。泌尿器科の実践的知識・技能の習得により様々な泌尿器科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。また将来的にサブスペシャリティとなる分野を見通した研修も開始するようにします。

ローテーションの具体例

※研修連携施設等については、5-6Pに掲載しています。

1年目、または4年目、またはその両方を基幹施設、その他の期間を研修連携施設等で研修しますが、2年目以降の研修先に関しては本人の希望や研修の進み具合により専門研修プログラム委員会が決定します。特に3年目修了時点でサブスペシャリティの希望があれば、4年目はそれに特化した施設での研修を考慮します。将来的な開業の希望がある場合や、開業診療を体験することを希望する場合には開業施設での研修も考慮します。

卒業後（年目）	1～2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
例 その1	初期研修	基幹施設	連携病院 A または B	連携病院 A または B	連携病院 A または B
例 その2	初期研修	連携病院 A または B	連携病院 A または B	連携病院 A または B	基幹施設
例 その3	初期研修	基幹施設	連携病院 A または B	連携病院 A または B	基幹施設
例 その4	初期研修	基幹施設	連携病院 A または B	連携病院 A または B	サブスペシャリティ病院 A または B
例 その5	初期研修	基幹施設	連携病院 A または B	協力施設 C 連携病院 A または B	連携病院 A または B

静岡泌尿器科専門医研修

基幹研修施設 静岡県立総合病院のご紹介

- **病床数** 712床（一般662床、結核50床）
- **看護体制** 7：1（一般病床）
- **診療科目** 基本領域をカバーし、更に専門性の高い診療科も充実しています。（精神科のみ関連施設）
救急科、循環器内科、心臓血管外科、腫瘍内科、緩和医療科総合診療科、腎臓内科、泌尿器科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、脳神経外科、消化器内科、外科（消化器外科）、呼吸器内科、呼吸器外科、産婦人科、乳腺外科、小児科、整形外科、リハビリテーション科、眼科、頭頸部・耳鼻いんこう科、血液内科、皮膚科、形成外科、歯科口腔外科、ペインクリニック科、遺伝子診療科、麻酔科、集中治療科、放射線科、核医学科、病理診断科、臨床検査科
- **医師数** 259名（初期研修医40名、専攻医63名を含む）※平成28年4月集計
- **施設認定** 高度救命救急センター、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院、基幹災害拠点病院
へき地医療支援病院、
- **学会認定** 東海地区でも有数の60を超える学会認定を受けています。サブスペシャリティや各種資格の取得も円滑にサポートできます。詳しくはホームページをご覧ください。
- **研修関係** 初期臨床研修病院として、約40名の研修医が所属しています。（例年、定員を満たしています）
- **設備** ハイブリッド手術室、集中治療室（ICU・HCU）、PETイメージングセンター、サイクロトロン、320列CT、手術支援ロボットダビンチ、化学療法センター、などの高度な設備を備えています。
また、平成29年に先端医学棟が完成予定です。手術室を13室から22室に増やし、メディカルスキルアップセンターなどが充実した教育研修フロアを備えた5階建ての施設です。
- **その他** 医師専用住宅や院内保育所など各種設備が完備されています。
- **キャリア** 関連する複数の大学や研究機関での就業、海外留学、国内留学、開業まで支援できる素地があります。
安心して見学とご相談においで下さい。教育研修を統括する副院長、教育研修部長、各科責任者がご対応します。

専門医をめざす先生方へのメッセージ

静岡県立総合病院は、がん医療、循環器医療、救急医療を3つの医療の柱として、「信頼し安心できる質の高い全人的医療」の実現に向けて、職員一同、一致協力して取り組んでいます。

また、県内の中核病院として高度医療や先進医療に取り組み、地域医療を支援しています。

平成29年度には先端医学棟が完成し、より一層充実した医療および研究・研修環境を提供します。

将来の医療を担う医師の育成に力を注いでいる当院で、是非充実した研修生活を送り、今後の財産となるであろう様々な経験を積んでください。

みなさまのご応募をお待ちしています。

静岡県立総合病院 院長 田中 一成



基幹研修施設「静岡県立総合病院」における 泌尿器科専門医研修のご紹介



2016年6月現在、泌尿器科の病床数は24で、6名のスタッフ（2名は後期研修医）と1名の嘱託医からなっています。当院の正式な就業開始時間は8時30分ですが、泌尿器科ではほぼ毎日7時30分からカンファレンスを行います。月曜日の夕方にもカンファレンスを行います。その時間帯には外科や産婦人科と共同で定期的（約2ヶ月毎）に腹腔鏡手術の勉強会も行っています。また金曜日の朝には抄読会を行います。抄読会では、担当者がトップジャーナルから興味のある論文を選択してプレゼンテーションを行います。ただ読んで紹介するだけでなく、論文の読み方や考え方について議論します。

外来は基本的には毎日2診体制で、その中で体外衝撃波結石破碎治療や尿流動態検査も行います。泌尿器科の中のサブスペシャリティの中で、男性不妊と小児泌尿器については当院は

関わりませんが、それ以外の全ての領域に関わる患者さんと接することになります。手術は月、火、木で麻酔科管理の手術が全日1枠と、水曜日の午後半日当科麻酔での1枠を持っていますが、2017年春に新棟稼働と共に手術室数が現在のほぼ倍に増加する予定であることから、更に手術枠および手術数が増加するだろうと思います。2015年度に行った手術では、件数の多いものから経尿道的膀胱腫瘍切除術（132件）、ロボット支援前立腺全摘除術（77件）、経尿道的前立腺切除術（24件）、腹腔鏡下腎摘除術（20件）、腹腔鏡下腎部分切除術（16件）などとなっています。ロボット支援手術については、今年度中に腎部分切除を開始する予定であるとともに、膀胱全摘除術については臨床研究として行っています。また腎移植は生体移植を月に1組のペースで行うとともに、年に数例献腎移植を行っていま



す。腹腔鏡手術全般にも力を入れており単孔式手術なども手がけていますが、一方では開腹が必要となる大きな手術も数多く行っています。

さてこれまで仕事についての堅苦しい情報を提供してきましたが、最後に現在のスタッフについても少しお話しします。元々当科は京都大学の関連施設ではありますが、スタッフが当院で勤務することになった経緯は様々で6名全員の出身大学が異なります。みんな仲良くやっています（のはず・・・？）し、何かと言えば飲みに行くことを考えています。これは静岡の特徴なのかも知れませんが、病棟や外来、手術室に勤務されている看護師やコメディカルも皆さん“異常に”明るいです（こちらがちょっと引くくらい・・・という時さえよくあります）。

是非私達といっしょに明るい研修医生活を送りましょう！



研修施設の紹介

研修連携施設等について（3つのグループがあります）

静岡泌尿器科専門教育プログラムに属する研修連携施設等は23ありますが、すべての施設において泌尿器科指導医が常勤しています。これらの病院は、

- A** 泌尿器科専門研修プログラム整備基準の定める連携施設①（日本泌尿器科学会が定める標準手術が年間80件以上の教育施設）に属するグループA（病院）
- B** 同整備基準の定める連携施設②（標準手術が年間80件未満の関連教育施設）を中心としたグループB（病院）
- C** 研修協力施設であるグループC（開業：医院、クリニック）

の三つに大別されます。

静岡県東部の要！
ドクターヘリを有する救急指定病院

新幹線「新富士駅」からも近い、
富士医療圏の基幹病院

「地域に貢献できる医療を目指す」
急性期医療を中心とした地域の中核病院

地域唯一の急性期型病院として
機能しております。

地域の中核病院として、
浜名湖の隣で実践的な研修を
提供します。

低侵襲手術に特化した病院

A **順天堂大学
医学部附属静岡病院**
結石に伴う尿路感染症や外傷等の泌尿器科救急疾患症例が多い病院です。他院では比較的経験しづらい症例を経験できると思います。がん治療センターも開設しています。

A **富士市立中央病院**
泌尿器科専門知識と技能をもとに、主に地域医療に対応した総合的診療能力が習得でき、泌尿器科領域の基本的臨床能力が持てる泌尿器科専攻医の育成を目的とします。

B **聖隷富士病院**
1人医長で外来中心の医療を実施、前立腺生検は積極的に実施、外科医と合同で可能な開腹または腹腔鏡下手術を実施している。尿路結石治療機器がないので尿路結石の手術は実施していない。

A **榛原総合病院**
地域唯一の急性期型病院として、幅広く診療しております。

A **市立湖西病院**
当院の泌尿器科では、泌尿器科全般にわたり診療を行っています。年間手術約250件、25年以上の泌尿器科研修医の指導と実績を活かして、指導医2人で専攻医の育成にこれからも努力していきます。専攻医の先生には、100件以上の手術を執刀していただく予定です。

A **新都市病院**
泌尿器科腹腔鏡手術、前立腺レーザー手術（PVP）、血管アクセス手術の症例数の多い病院です。浜松市に隣接する磐田市のJR磐田駅より徒歩5分と好立地です。

国内有数の小児専門病院。
希少な症例も学ぶことができます。

静岡市の基幹病院として
高度専門医療を提供しています。

高度な医療の提供と集中的で
高水準の診療を実現する体制あり

救急を積極的に受ける。
各科の垣根が低く、交流が盛んである。

政令指定都市浜松南部に位置する
ケアミックス病院

透析専門医や腎臓専門医の
取得も可能です。

A **静岡県立
こども病院**
小児泌尿器科疾患の診療を全般的に経験できます。一般泌尿器科を習得し、旧専門医を取得されるレベルにあり、小児泌尿器科を副専門にされる予定の先生の研修に適しています。

A **静岡市立静岡病院**
静岡県中部の中核病院として紹介患者が多く、疾患も多岐に渡っています。ロボット支援手術、腹腔鏡手術に特に力を入れています。腎臓内科と連携して透析治療を学ぶことも可能です。

A **静岡市立清水病院**
腹腔鏡手術は日常的に行っており、ビデオシステムは2016年度から3Dを導入予定。また尿路結石症に対して積極的に取り組んでおり施設の充実化が進んでいます。技術はもちろん臨床的な知識の習得に関してはお任せください。地域医療支援病院、災害拠点病院等にも指定されています。

A **浜松労災病院**
当院では、より安全でより効果の高いと考えられる最先端の低侵襲治療に積極的に取り組んでいます。大きな手術やめずらしい手術も関連施設より手術のエキスパートを招き行なう場合もあります。

A **すずかけ
セントラル病院**
泌尿器内視鏡手術に特化。日経BP社より創刊の「頼りにしたいプレミアムドクターズ2016-2017」版にも紹介された医師も在籍しています。

B **十全記念病院**
PET/RIなどの診断装置を備え、HoLEP、TURIs、3D腹腔鏡下手術をはじめ、透析関連の血管手術も行っており、日本透析医学会の教育関連施設および日本腎臓学会の研修施設にも認定されているため、透析専門医や腎臓専門医の取得も可能です。

静岡市の中心に位置する
3次救急医療機関。

腹腔鏡技術認定医を目指した
トレーニングも可能

静岡市中心で唯一の
ケアミックス型医療機関。

JCI認定も受けている
「東海地方有数」の高度急性期病院

静岡市でもっとも歴史ある
泌尿器科専門の診療所

前立腺のスペシャリストに学ぶ

A **静岡赤十字病院**
静岡赤十字病院では前立腺内視鏡治療、尿路結石治療などの豊富な実績のもとに、さまざまな泌尿器科疾患に対応しています。JR静岡駅からも近い好立地です。

A **静岡済生会
総合病院**
早くから腹腔鏡手術への取り組みをはじめ、2010年には腹腔鏡下前立腺全摘術の施設基準を市内で最初に取得。腹腔鏡技術認定医を目指したトレーニングが可能。また女性泌尿器科手術（TVMなど）にも対応している。3次救急施設として静岡市の医療を支えています。

B **J A 静岡厚生連
静岡厚生病院**
静岡市中心で唯一のケアミックス型医療機関として、機能的排尿障害も施行できます。健康管理センターや居宅介護事業所・訪問看護事業所も運営し、保健・医療・福祉事業を展開しています。

A **総合病院
聖隷浜松病院**
当院は専門医4名、後期専攻医1名の5名体制で診療。10年目以下の先生も3名いて、活気に溢れ、相談しやすい環境にあります。鏡視下手術を年間約50件施行、多くの経験を積むことが可能です。腹腔鏡技術認定の取得も数年で可能です。また、他科とのコラボレーション手術も多いことも特徴です。是非、当院での研修をお勧めいたします。

C **かげやま医院**
泌尿器科・性病科・血液透析・循環器科を標榜されており、幅広い診療技術が学べます。静岡県立大学など複数の薬学部やNPOなどと共同研究も行われています。

C **ながえ前立腺
ケアクリニック**
前立腺のスペシャリストとして2名の医師が在籍しています。めずらしい薬剤師外来も開設されており、診療所ならではの研修が受けられます。